

奈良県立奈良商工高等学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本校の学科の特色を理解し、明確な進路目標を掲げて高校生活を送ることができる生徒</li> <li>2 本校志望の意志が強く、社会の変化に対応できるよう主体的に学習に取り組み、学校行事、部活動、地域交流等に積極的に参加し、常に自らを高め、「目標」に向かって努力する生徒</li> <li>3 ものづくりや科学技術に関心をもち、工業に関する知識・技能の習得と資格取得に積極的にチャレンジする生徒</li> <li>4 ビジネス社会に関心をもち、ビジネス活動に必要な資格の取得に向けて一生懸命に努力することのできる生徒</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	<p>本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実社会で役立つ資格を取得し、社会に貢献できる専門力を育成します。</li> <li>2 最先端の機器を活用して、ものづくりやビジネスに関する実験・実習を行います。</li> <li>3 大学や専門学校、企業等と連携した高度な授業や技術講演会を実施します。</li> <li>4 就職や進学に対応した柔軟な科目選択や少人数指導を行います。</li> <li>5 生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通して、他者と協働する力を育成します。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間尊重の精神に徹し、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。</li> <li>2 将来にわたり、高い志をもち、自から学び、自ら考え、社会の変化に柔軟に対応することができる。</li> <li>3 主体的に行動し、地域社会の中核として活躍することができる。</li> <li>4 専門的知識と確かな技術を習得し、工業や商業の発展に寄与することができる。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力・運動能力・運動意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動部・文化部加入率（前年度比5%増）</li> <li>●定期的な運動習慣がある・運動が好きな生徒等の割合（アンケート70%以上）</li> </ul>
	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あいさつの励行（アンケート90%以上）</li> <li>●遅刻数の減少（前年度比5%減）</li> </ul>
	食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝食を毎日食べている生徒の割合（アンケート90%以上）</li> <li>●食生活の大切さを理解している生徒の割合（アンケート90%以上）</li> </ul>
	健康維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体調不良等による保健室への来室数（前年度比5%減）</li> </ul>
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	アクティブラーニングの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アクティブラーニングによる授業・探究・課題研究の推進（アンケート80%以上）</li> </ul>
	I C Tを活用した授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒のI C T機器活用力の向上、I C T機器を活用した授業の生徒評価（アンケート80%以上）</li> </ul>
	教員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の1か月の超過勤務時間数削減（3か月連続45時間超過する教員数0）</li> </ul>
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インターンシップ・デュアルシステム参加生徒数（在学中参加70%以上）</li> </ul>
	実学教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会人講師等を招いての実習・講演・授業実施等（年間50回以上）</li> </ul>
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域との連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティースクールの積極的な運営</li> <li>●地域行事への生徒の参加・地域の人々を学校へ招いての行事等の実施（年間10回以上）</li> </ul>
	地域に貢献する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域との連携事業実施</li> </ul>
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会各学年1回以上 職員研修年間1回以上</li> </ul>
	いじめの未然防止・不登校等への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「奈良県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」にもとづく取組の徹底と定期的なアンケート実施(アンケート2回)</li> <li>●スクールカウンセラーとの連携（コーディネーター会 年間6回）</li> </ul>
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な特別支援教育推進委員会の開催による情報共有と個別の支援計画の作成（委員会開催による情報共有5回・支援計画全員）</li> </ul>
	多文化共生教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多文化理解のためのH Rの展開</li> </ul>